

1. 授業の概要(ねらい)

前期は、自分の取り組みたいテーマを設定し、基本的なデータや先行研究を探します。そして報告し、グループで討論し、各自の報告について質問やコメントを交換するなかで、自身のテーマへの理解を深めます。同時に、基本データの探し方や、自分の取り組みたいテーマを他者にわかりやすく伝えるにはどうすればよいかを学びます。

2. 授業の到達目標

- ・自分の関心を持っているテーマについて、他者にわかりやすく説明できるようになる。
- ・自分の関心を持っているテーマについて、適切な文献やデータを参照できるようになる。
- ・自分の関心を持っているテーマについて、レポートでさらに考えを深めることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①授業における報告(40%)
- ②他者の報告へのコメント・討論への参加(40%)
- ③期末レポート(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

筒井淳也・前田泰樹編 『社会学入門——社会とのかかわり方』 有斐閣、2017年
岩間暁子・大和礼子・田間泰子編 『問いからはじめる家族社会学——多様化する家族の包摂に向けて』 有斐閣、2015年
稲垣恭子・内田良編 『教育社会学のフロンティア2 変容する社会と教育のゆくえ』 岩波書店、2018年

5. 準備学修の内容

自分の報告するテーマについて、必要な文献・論文を読み、報告資料やレポートをまとめること。
また、他者の報告についても、自分のテーマに役立てられそうな視点や文献がないかつねに関心を払うこと。

6. その他履修上の注意事項

成績評価は、「3.成績評価の方法および基準」の①～③のそれぞれで一定の水準を満たしていることを重視します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 文献の探し方・読み方①
- 【第3回】 文献の探し方・読み方②
- 【第4回】 報告・討論①
- 【第5回】 報告・討論②
- 【第6回】 報告・討論③
- 【第7回】 報告・討論④
- 【第8回】 報告・討論⑤
- 【第9回】 報告・討論⑥
- 【第10回】 報告・討論⑦
- 【第11回】 報告・討論⑧
- 【第12回】 期末レポートの準備①
- 【第13回】 期末レポートの準備②
- 【第14回】 期末レポートの準備③
- 【第15回】 まとめ